

新潟県立長岡高等学校長

鈴木勇二

1 はじめに

皆さん、おはようございます。いよいよ2学期が始まります。頑張っていきましょう。

さて、皆さんはこの夏休みをどのように過ごしたでしょうか。夏休みの前半はかなりの猛暑。連日猛暑日になろうかという日が続きました。そんな中、1、2年生は、実質8月から始まった夏休みも、部活動や和同祭などで多くの人たちが登校していましたね。3年生は8月10日まで補習があり、図書館も毎日多くの生徒がいて、問題集や参考書を広げている姿が見られました。一人一人、それぞれの過ごし方があったと思います。そして、充実した夏休みを過ごしてくれたのではないかと思います。

ただ、新型コロナの影響も多くありました。一学期終業式では「県内の感染者はここ数日1,800人を超え、長岡市内の感染者も150人を超えています。」とお話ししましたが、その後も感染拡大は止まらず、現在は、県内の感染者は3,000人を超え、長岡市内の感染者は日によって差はありますが概ね400人くらいになっています。本校でも、夏季休業中、毎日のように感染者の報告がありました。濃厚接触者として、行動を控えてもらった生徒も多くいます。夏期休業中に予定していた学校行事も、いくつか中止になっています。

こういった状況の中で2学期が始まります。校内での感染拡大により学習活動が止まるようなことになってはいけません。感染対策については、何度も繰り返し指導していますが、徹底するようにしましょう。特にマスクを外しているときの会話が危険です。まずは黙食の徹底をお願いします。

それでは、3点、お話をします。

2 「実際」の体験から

はじめに、この夏の体験から一つお話をします。8月14日から16日まで、インターハイ水泳競技の視察で高知県に行ってきました。かなり暑い三日間でしたが、会場は屋内プールで、助かりました。全国から集まった選手たちの泳ぎは素晴らしく、また、選手たちの礼儀正しい行動にも感心しました。私が見た競技では、女子200m平泳ぎで新潟県の選手が6位に入賞しました。後半の粘りに息をのみながら応援していました。

話は変わりますが、会場は高知市の郊外にあり、田んぼに囲まれていましたが、その風

景になんとか違和感を感じました。そういえば、新潟では、まだ青々している稲が、高知では既に刈取りが終わっています。「二期作」という言葉が思い出されました。皆さんも中学校の時に習ったと思いますが、沖縄や鹿児島、高知といった温暖な地域では、1年で2回、米の収穫をする事ができます。これを米の二期作といいます。私も昔習ったことがあります、実際にその風景を見たのは初めてでした。タクシーの運転手さんが詳しく話してくれました。3月頃に田植えがあり7月末から8月はじめには1回目が刈取られること、1回目の米は東京に出荷されること、2回目に収穫した米の多くは飼料用として出荷されることなど。私は、地元の方が話す内容に、「なるほど、そうなんだ」と頷いてしまいました。このような話を聞いたことで、高知県の農業について興味が湧いて、新潟に戻ってから少し調べてみました。高知県では、主食米の作付けが目標を超過している状況が続いており県が飼料米の生産を推進していること、そのため飼料米の生産に県が補助金を出していること、米の収穫量は全国の0.6%に過ぎないこと、高知県では米の生産よりも園芸作物の生産が盛んで、ミョウガやブントンの出荷量は全国の90%のシェアを占めることなど。これらのデータだと、高知県は農業が盛んのように思えますが、高知県の県内総生産において農業の占める割合は3%に満たないこともわかりました。これらは高知県のホームページで調べました。もう少し、全国との比較や本県との比較もしてみたいと思います。夏休みの自由研究のようになってしまいましたね。

新型コロナウイルスの感染が広がる中、遠出はなかなかしにくいですが、「百聞は一見にしかず」、感染がおさまり、国内に限らずいろいろなところに行って「実際」を体験できるようになって欲しいと思います。

3 『銀河鉄道の父』

二つ目です。夏季休業中、自由な時間が多くなることで読書も進むかと思っていましたが、開放的になったのか、外で過ごす時間が多く、読み終えた本は2冊だけでした。今日はそのうちの1冊を紹介します。

角井慶喜（かどいよしのぶ）さんの直木賞受賞作『銀河鉄道の父』です。「銀河鉄道」といえば宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」ですね（私たちの年代は、『銀河鉄道999』を思い出しますが）。この小説は、宮沢賢治がどのようにして想像力豊かな作家になっていったかを父である宮沢政次郎（まさじろう）の視点から書いた物語です。明治から昭和にかけての生活が感じられると共に、登場する宮沢家の人々が個性的で感情豊かに描かれています。親から質屋を受け継ぎ、地元の名士としても力を発揮する政次郎の子育て日記のような側面もあります。「アメニモマケズカゼニモマケズ」や「アメユジュトテチテケン

ジャ」といった懐かしい言葉が出てきます。高校生の時と、大学生の時に読んだ新潮文庫の「銀河鉄道の夜」という文庫本をまた読んでみようと思います。

4 一人一台端末の活用について

三つ目です。今年度から、全ての生徒にタブレットが手渡されました。学校においては、先生方がこれを使ってよりわかりやすい授業を行ったり、自宅で行う課題の連絡に利用したりと、有効な活用を図っています。

このタブレットの活用について、1学期終業式の日、「県立学校学習支援システム」の案内をしました。詳細はそのとき配付されたプリントで確認してもらいたいと思いますが、このシステムは、皆さんが自分自身の学習目標や到達度に応じて、「いつでも・どこでも・何度でも」取り組むことができる学習コンテンツであり、5教科を中心に単元別の学習動画やレベル別の問題を提供しています。私もつないでみましたが、理科・生物授業レベルの動画で肝臓の働きに関するものがあり、興味深く視聴しました。各教科ともに受験レベル、教科書レベルに分かれていて、10分程度の動画が数多くあり、それを見た後に確認テストが受けられるようになっています。9月から全県で使えるようになりますが、本校はすでに8月から使えるようになっています。

もしかしたら、皆さんにとっては簡単な内容が多いかもしれませんが、基本の確認や、自分のペースで学習を進めるには最適なものと思います。学校や自宅での隙間時間を有効に活用し、厚みのある学力をつけましょう。

4 終わりに

以上3点、お話ししました。

さて、今日からの2学期が始まります。3年生にとっては受験に向けて大切な期間であり、学校推薦型選抜の校内選考も始まります。全ての生徒が目標を達成できるように、私たち教職員が全力で指導していきます。また、1学期終業式でも話したとおり、学校生活の大半は授業であり、「授業の時間を大切にすること」＝「高校生活を充実させること」です。1, 2年生は、今からこのことをしっかり理解し実行して欲しいと思います。

2学期、頑張ってください。

以上で訓話を終わります。